



Interim Report

第75期 上半期 株主通信 2018.4.1 - 2018.9.30

2019年3月期 上半期のご報告



八洲電機株式会社

証券コード：3153

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第75期上半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)における営業の概況及び決算の内容などについてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しておりますが、世界経済の不確実性や自然災害の影響により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は2018年4月より空調・給排水衛生設備工事事業を会社分割した「八洲環境エンジニアリング株式会社」と受変電設備・上下水道設備などの各種プラント設備の建設を主たる事業とする「株式会社三陽プラント建設」の二社を新たに八洲電機グループに加え、グループのソリューション・エンジニアリング力を強化しました。

また、本年度より事業領域の相互連携強化と競争力の向上を図るため、組織・事業体制を改編し、「エンジニアリングビジネスユニット」と「インフラソリューションビジネスユニット」の二つのビジネスユニット体制としました。さらに、ビジネスネットワーク推進センターを新設し、事業部門連携の円滑化を推進しております。

今後も、付加価値の高いビジネス展開により、エンジニアリング会社としてさらなる成長、並びに製品販売力の強化による売上拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

太田 明夫

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

当社はエンジニアリング会社として、お客様が工場や事務所などの設備の導入やリニューアルをする際、最適なシステムの構築を行い、設計・施工・保守などを併せて納めています。

最適なシステムをワンストップで提供し、環境・省エネ・高効率化などの多様なニーズにお応えします。

ビジネスのイメージ



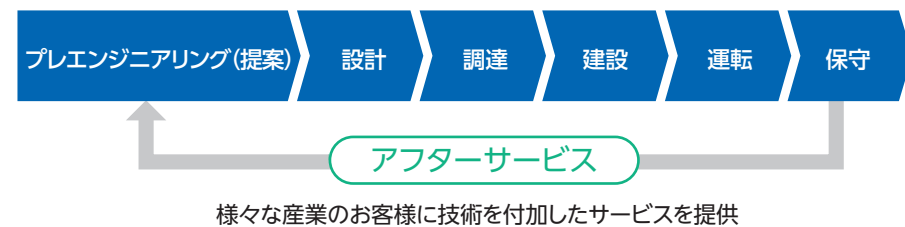
コア技術

5つのコア技術で、システム設計・施工・管理を行い、お客様の様々なニーズにお応えします。さらにコア技術を「技術ソリューション力」などで横断的に進化・融合し、お客様にとって最適なソリューションを提供します。

コア技術				
電機制御システム	環境システム	交通システム	情報システム	エネルギーシステム
最適化を実現するため設計から行う	ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	鉄道事業のニーズにお応えする	様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	再生可能エネルギーを活用する
技術ソリューション力		それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する		
プロジェクトマネジメント力		案件ごとに取りまとめを行う		
総合エンジニアリング力		設計・調達・工事などを連携させ提供する		
アライアンス構築力		日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する		

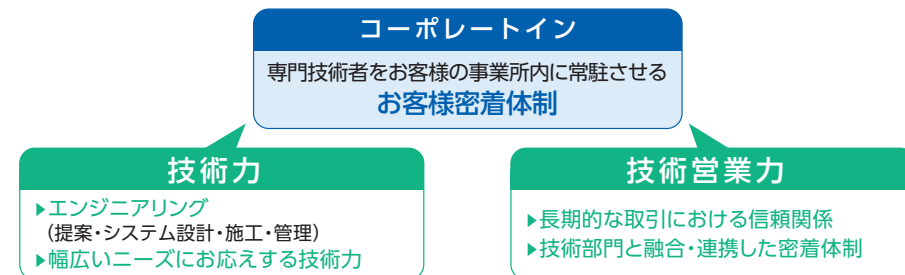
エンジニアリングフロー

製品を販売するだけではなく、プレエンジニアリングから、設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを一貫して行い、当社の技術とともにサービスを提供します。



コーポレートイン

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のあらゆるニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに

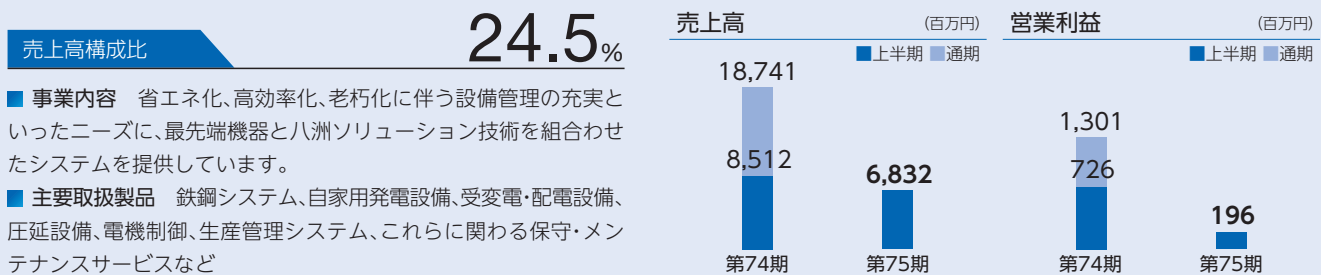
価値を創造するベストプランナーとして

環境配慮型社会に貢献する

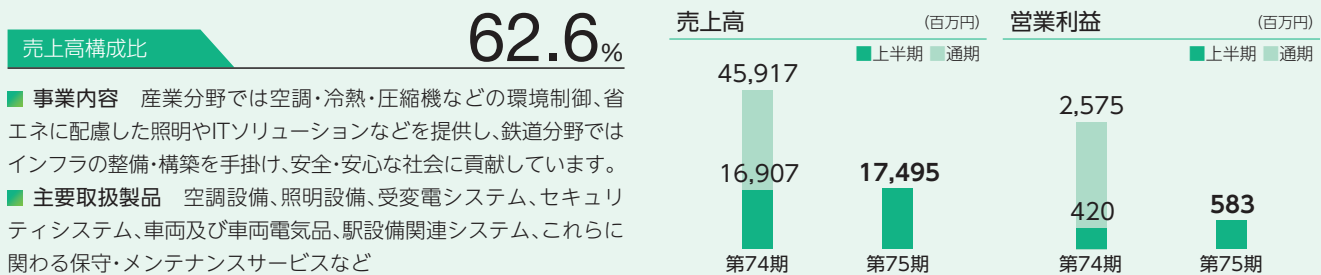
【セグメント変更】 第1四半期より、セグメント区分の見直しを行い、従来の「産業システム事業」と「社会インフラ事業」をそれに伴い、第74期の売上高及び営業利益については、変更後の区分による数値を記載してお



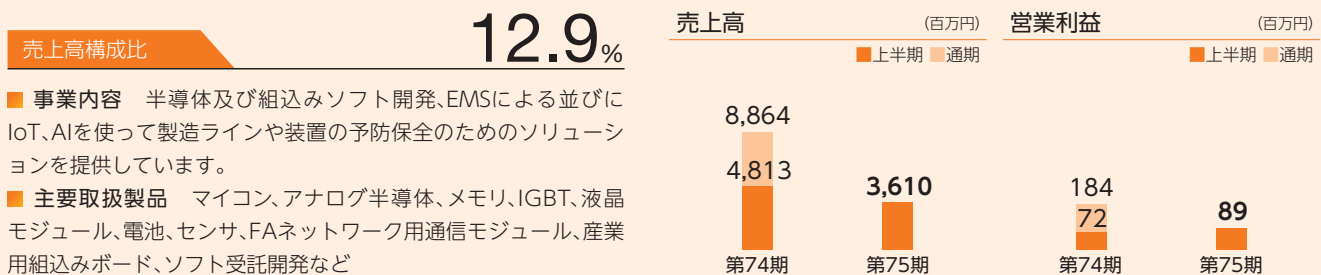
鉄鋼・石油・エネルギーなどのプラント分野に最先端技術で貢献



化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道などの幅広い業界に貢献



先端技術を駆使したソリューションを提供し社会に貢献



統合し、「産業・交通事業」に変更しました。
ります。

※売上高構成比は第75期(2018年度)上半期実績で算出

CLOSE UP！

電機制御技術を活用し、お客様の製造設備や製造ラインに、ドライブ制御、設備・ライン制御、制御計算機などのシステムを提供しています。

お客様設備の運用・保守を“見える化”“改善”することで設備の信頼性を向上させるとともに、お客様への現場常駐により、確実なメンテナンスを実施しております。



石油業界のお客様の製造ライン(イメージ)

CLOSE UP！

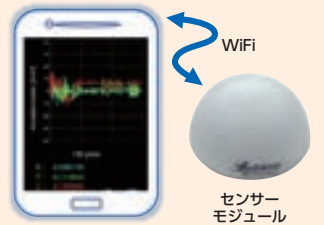
東武鉄道(株)様の20000系車両を東武宇都宮線ワンマン線区で運用するため、8両から4両化、内外装リニューアル、個別ドア開閉ボタン設置などの改造を行い、2018年9月より運用を開始しました。今後もお客様のニーズに応えた車両を提供してまいります。



左: 4両化した20000系車両
右: 既存20000系車両

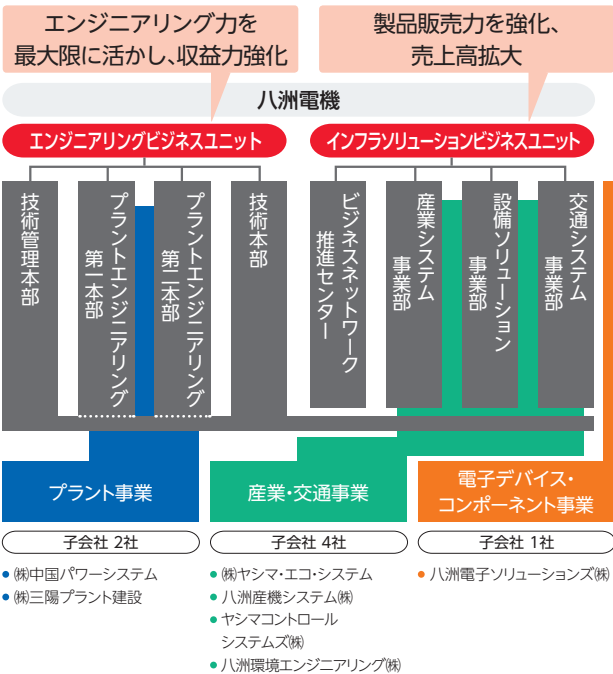
CLOSE UP！

IoT関連事業はますます拡大、高度化しています。これに伴いセンサーモジュールを構成するセンサーや制御デバイスの性能向上、小型化、高セキュリティ対応要求にお応えできるセンシングソリューションを提供いたします。



加速度センサー＋無線モジュール一体型センサーモジュールデモ機

ビジネスユニットの概要



ビジネスユニット体制

2018年度の重点施策である、「ソリューション・エンジニアリング力の強化と拡大」を推進し、事業領域の相互連携強化と競争力の向上を図るため、組織・事業体制を改編し、ビジネスユニット制組織を導入しました。また、ビジネスユニット制導入に伴い、第1四半期よりセグメント区分を変更しました。

■「エンジニアリングビジネスユニット」では、技術営業一体のプラントエンジニアリング事業を推進し、エンジニアリング力を最大限に活かし収益力強化を目指します。

■「インフラソリューションビジネスユニット」では、エンジニアリング案件の対応を行うと同時に、事業間の密接な連携を図り、製品販売力を強化することで売上高の拡大を目指します。また、ビジネスネットワーク推進センターを新設し、顧客・製品・ビジネス情報の横展開強化と、事業部間連携をさらに推進してまいります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当上半期 2018年9月30日現在	前 期 2018年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	38,906	53,092
固定資産	7,481	7,240
有形固定資産	4,333	4,258
無形固定資産	355	231
投資その他の資産	2,792	2,750
資産合計	46,388	60,332
負債の部		
2 流動負債	24,834	38,236
固定負債	3,018	3,364
負債合計	27,853	41,601
純資産の部		
株主資本	18,294	18,609
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	15,876	16,087
自己株式	△204	△100
その他の包括利益累計額	△112	△248
非支配株主持分	352	369
純資産合計	18,535	18,731
負債純資産合計	46,388	60,332

連結損益計算書

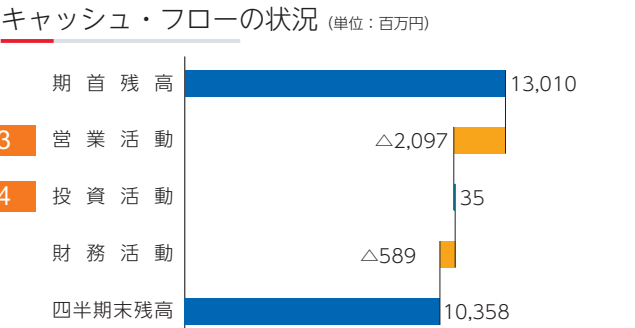
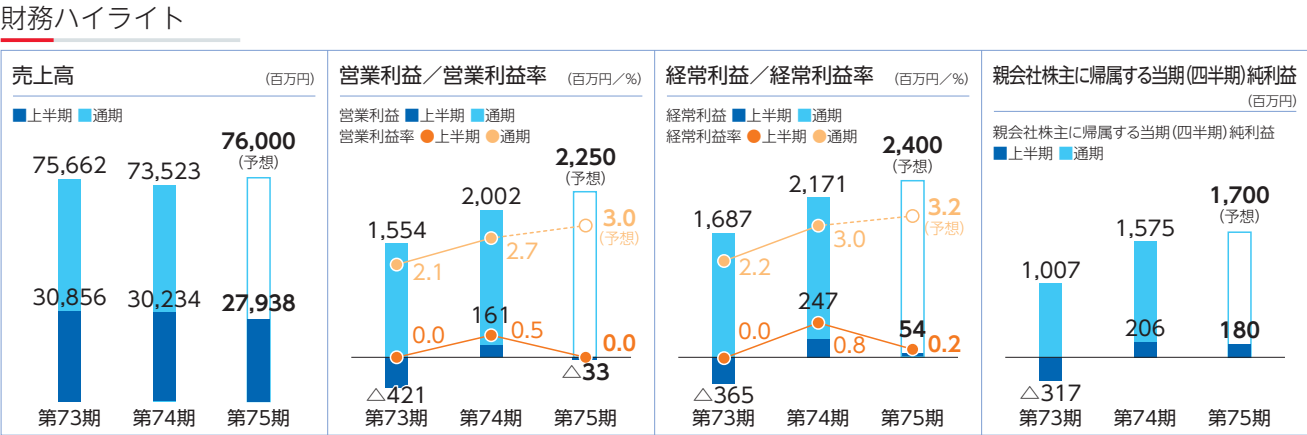
(単位：百万円)

科 目	当上半期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	前上半期 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
売上高	27,938	30,234
売上総利益	4,803	5,001
販売費及び一般管理費	4,837	4,839
営業利益又は営業損失(△)	△33	161
営業外収益	94	100
営業外費用	5	13
経常利益	54	247
特別利益	266	607
特別損失	0	522
税金等調整前四半期純利益	320	333
法人税等合計	144	103
四半期純利益	176	229
非支配株主に帰属する 四半期純利益	△3	22
親会社株主に帰属する 四半期純利益	180	206

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当上半期 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日	前上半期 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△2,097	344
投資活動による キャッシュ・フロー	35	540
財務活動による キャッシュ・フロー	△589	△647
現金及び現金同等物の増減額	△2,652	236
現金及び現金同等物の期首残高	13,010	10,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,358	10,584



ポイント解説

1 流動資産

前期末に比べ141億85百万円減少。
(**主な要因**) 現金及び預金30億73百万円減少、受取手形及び
売掛金106億33百万円減少、未収入金22億96百万円減少。

2 流動負債

前期末に比べ134億2百万円減少。
(**主な要因**) 支払手形及び買掛金109億73百万円減少、未払
金27億97百万円減少。

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

20億97百万円減少(前年同期は3億44百万円の増加)。
(**主な要因**) 主なマイナス要因として、仕入債務の減少額113
億82百万円、未払金の減少額27億86百万円。
主なプラス要因として、売上債権の減少額113億81百万円。

4 投資活動によるキャッシュ・フロー

35百万円の増加(前年同期は5億40百万円の増加)。
(**主な要因**) 主なプラス要因として、有形固定資産の売却に
よる収入3億28百万円。
主なマイナス要因として、有形固定資産の取得による支出
1億84百万円。

『東証IRフェスタ2019』に出展します！

2019年2月22日(金)より2日間にわたって東京国際フォーラムで開催される『東証IRフェスタ2019』に出展いたします。個人投資家の皆様に当社の事業内容などをより深くご理解いただけるよう、ブース内にてミニ会社説明会の開催やパネルを展示し、わかりやすくご紹介いたします。ぜひご来場の上、当社ブースにお立ち寄りください。

開催概要

催 事 名 称	東証IRフェスタ2019
主 催	日本取引所グループ／東京証券取引所
会 期	2019年2月22日(金)～23日(土) 10:00～18:00
会 場	東京国際フォーラム B2FホールE
出 展 社 数	90社(見込み)
入 場 料	無料



白石取締役兼専務執行役員による説明の様子



野村IR『合同個人投資家セミナー』に参加

2018年9月3日(月)、野村インベスター・リレーションズ(株)企画の『合同個人投資家セミナー』に参加しました。当日は事業内容や重点施策、株式情報などを説明し、個人投資家の皆様からも貴重なご意見・ご質問をいただきました。

今後も、当社の事業内容などのご理解をより深めていただけるよう、積極的なIR活動に取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンスに関する報告書を提出

2018年6月に改訂された「コーポレートガバナンス・コード」に対応した「コーポレート・ガバナンスに関する報告書」を、2018年8月東京証券取引所に提出いたしました。

当社は、当社グループの持続的な成長及び長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めてまいります。



●ホームページでもご覧いただけます。

https://www.yashimadenki.co.jp/ir_action_governance.php



『健康経営宣言』制定

当社は、「社会に信用・信頼される会社」「社会に奉仕する会社」「社会に協力・協調する会社」(「信・愛・和」)を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティーの高いサービスを通じ お客様とともに価値を創造する ベストプランナーとして 環境配慮型社会に貢献する」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くということが、重要な経営課題であるとしてまいります。

従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言し、重点施策に取り組んでまいります。



認定番号：健銀第440号
全国健康保険協会 健康優良企業認定ロゴマーク

重点施策

- ① からだの健康
 - 運動機会の増進
 - 喫煙者の減少
- ② 職場の健康
 - 所定時間外労働時間の更なる減少
 - 有給休暇取得率の更なる向上
- ③ こころの健康
 - 産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進



清掃活動に参加

当社は年間を通して様々な社会貢献活動を行っております。その一環として2018年度上半期には、本社所在地である東京都港区、支店のある広島地区で清掃活動に参加しました。

今後も地域の皆様と協力し、さらに「安全できれいなまち」になるよう継続して社会貢献活動に努めてまいります。



クリーンキャンペーンに参加(東京)



一斉清掃ボランティアに参加(広島)



固定資産(土地・建物)の取得

当社は、東京都港区芝にある土地及び建物を本社芝別館(仮称)として購入し、当社のエンジニアリング部門などを移転集約いたします。これにより、各技術分野の連携強化を一層高め、また本社各部門との緊密な連携を強化し、業務環境のさらなる整備を進めてまいります。(所有権移転日:2019年3月(予定))

速報

会社分割による情報・通信システム事業会社設立検討開始

当社は、会社分割により2019年4月に情報・通信システム事業を行う会社を設立することについて検討を開始いたしました。迅速な経営判断と営業・技術一体となった最新技術(IoT、AIなど)のITソリューションを積極的に推進し、また最適システムの提案力を強化し、さらに競争力を高めることで事業を拡大することを目的に、検討をすすめてまいります。

ホームページのご案内

当社ホームページは、「[会社案内](#)」「[事業紹介](#)」「[株主・投資家の皆さまへ](#)」「[環境への取組み](#)」などの各ページにおいて、当社に関する様々な情報を発信しております。当社グループのCSR活動への取組みを幅広く紹介したCSRレポートも掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

八洲電機

検索



IR



CSR



会社情報



その他

『第16回YDAS2018
こどもあそび博覧会』に参加・出展

2018年9月15日(土)、東京都調布市第二小学校で開催された「第16回 やあやあドリームオールスターズ(YDAS)2018こどもあそび博覧会」(調布市の市民活動団体などで構成された様々なボランティア団体が主催)に参加・出展しました。

当社は、東京都水道局様の深大寺浄水所(調布市)の電気設備工事を行っていることもあり、また、昨年の参加・出展がご好評をいただいたことから、今年も参加・出展しました。当日は、来場された約300名のお子様とご父兄の皆様へ、模型を使用して当社が行った工事などについて説明を行い、水道局の役割や水道工事の大切さなどのご理解を深めていただきました。



来場者でにぎわうブース

スマートフォンでも
ご覧いただけます。



連結経営指標の推移

	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通期(予想)
受注高	45,937	84,402	37,429	78,657	34,224	69,969	36,992	—
売上高	35,581	78,313	30,856	75,662	30,234	73,523	27,938	76,000
経常利益	241	2,009	△365	1,687	247	2,171	54	2,400
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	82	1,810 ^(※1)	△317	1,007	206 ^(※2)	1,575 ^(※2)	180	1,700
純資産額	15,304	16,423	15,858	17,258	17,462	18,731	18,535	—
総資産額	48,804	53,647	46,549	56,361	47,104	60,332	46,388	—
有利子負債	2,438	2,646	1,841	1,547	1,257	968	1,156	—
1株当たり純資産額(円)	685.35	736.41	712.11	776.04	784.83	846.89	843.04	—
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	3.77	83.13	△14.57	46.27	9.49	72.44	8.33	78.70
自己資本比率(%)	30.59	29.90	33.32	29.99	36.29	30.43	39.20	—
ROE(%)	—	11.61	—	6.12	—	8.94	—	—
ROA(%)	—	3.26	—	1.83	—	2.70	—	—
従業員数(人)	980	995	1,009	1,006	1,014	997	1,044	—

(※1) 2016年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、負ののれん発生益による特別利益を含んでおります。
(※2) 2018年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、土地の譲渡による特別利益及び厚生年金基金からの脱退に伴う特別損失を含んでおります。

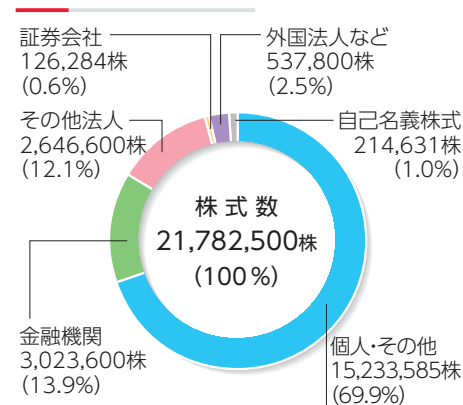
会社の概況

商 号	八洲電機株式会社 Yashima Denki Co., Ltd.
創 立	1946年8月8日
資 本 金	1,585百万円
従業員数	連結1,044名(単体538名)
本 社	〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000 株
発行済株式総数	21,782,500 株
株 主 数	24,745 名

所有者別分布状況



主要拠点

本 社	〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
エンジニアリング セ ン タ ー	〒116-0014 東京都荒川区東日暮里三丁目11番17号
西日本支社 (関西支店)	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋三丁目3番13号 ニッセイ淀屋橋イースト4F
西日本支社 (中国支店)	〒730-0051 広島県広島市中区大手町三丁目8番1号 大手町中央ビル8F
岡 山 支 店	〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館5F
各事業所など	東北営業所、日立営業所、茨城営業所、鹿島営業所、千葉営業所、京浜営業所、知多営業所、堺営業所、倉敷営業所、水島事務所、福山営業所、呉営業所、東予事務所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所

- グループ会社
- 株式会社ヤシマ・エコ・システム
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里三丁目11番17号
 - 八洲産機システム株式会社
〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
 - ヤシマコントロールシステムズ株式会社
〒739-1752 広島県広島市安佐北区上深川町701番1号
 - 八洲環境エンジニアリング株式会社
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里三丁目11番17号
 - 八洲電子ソリューションズ株式会社
〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号
 - 八禧洲(上海)电机商贸有限公司
中国・上海市茂名南路205号 瑞金大厦 25楼 200020
 - 株式会社中国パワースystem
〒730-0015 広島県広島市中区橋本町10番6号 広島NSビル3F
 - 株式会社三陽プラント建設
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥二丁目15番3号
 - 八洲ビジネスサポート株式会社
〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

コーポレート・ステートメントロゴ



ブランドのシンボルとなるコーポレート・ステートメントロゴは、全社員の投票によって決定したものです。経営理念である『信・愛・和』をイメージし、「信用・信頼・誠実」を表すブルーの文字に、情熱を表すレッドの円環を重ねることで、創業以来築き上げてきた伝統とスタイルを継承しつつも、常に未来を見据えた姿勢を表現しています。

株主還元(配当・優待)／株式データ (2018年9月30日 現在)

Shareholder Return / Stock Information

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当と株主優待制度を実施しております。

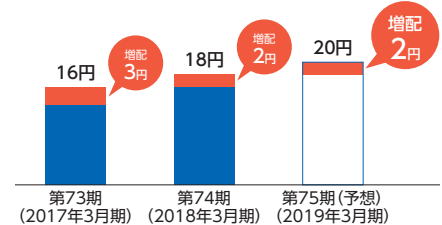
● 配当について

■ 権利確定日: 毎年3月末 ■ 配当金額: 1株当たり20円 第75期(2019年3月期) 予想

〈増配について〉

2019年3月期の期末配当予想につきましては、業績及び財務状態を総合的に検討した結果、1株当たり18円の配当予想を2円増額し、20円とすることといたしました。

今後も、株主様に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。



● 株主優待について

■ 対象となる株主様: 毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有されている株主様

■ 優待の内容: 保有株式数に応じて「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」を贈呈いたします。

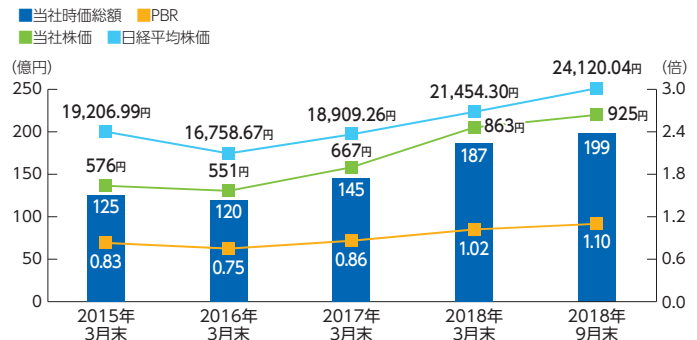
● 200株以上 2,000円分

● 100株以上200株未満 500円分

※「東日本復興支援ジェフグルメカード」は、全国約35,000店の身近なお店でご利用いただける全国共通お食事券です。

※ご利用できるお店は「ジェフグルメカード」のホームページ(<https://www.jfcard.co.jp>)よりご確認ください。

● 株式関連指標



株主メモ

- 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 3153
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 3月31日及びあらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL: <https://www.yashimadenki.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

● 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

八洲電機株式会社 <https://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号 TEL.03-3507-3711

